

緑化だより

No.144 平成30年11月号



中央展望台からの紅葉

11月 休園日はありません

- 季節の花(スギ)
- 昆虫の話(水中の忍者 ミズカマキリ)
- 小さな世界こけ(春の準備)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

ひろしま 緑化の森

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

スギ

「いつの間に 神さびけるか 香具山の 梓杉(ほこすぎ)の本(もと)に 苔生(む)すまでに」
鴨 足人(かものきみのたりひと) 萬葉集 3巻:0259

これを訳しますと

(いつの間に時がすぎて、訪れる人も少なく、自然の姿に帰ってしまった香具山の杉の木は大木となり、その根元には苔が生えています。)

奈良の都が藤原京(694年)の頃、香具山は神聖なる「天」の香具山として尊ばれていましたが、都が平城京(710年)に移った後は、人々から愛されていた香具山には訪れる人も少なくなり、閑散とした寂しさがこみ上げてくる様子を詠っています。

スギはスギ科(ヒノキ科に置く説もある)スギ属は「1属1種の日本固有」の木です。東北地方～九州の屋久島まで分布していますが、木材資源として古くから植林されてきましたので、自生地は正確には分かっていません。スギには地域による品種があり、秋田杉、山武杉(千葉)、天竜杉、吉野杉、北山杉、芦生杉(京都、甘日市市吉和村の八郎杉もこれの一型)、屋久杉などが有名です。

古代から人間と木は密接な関係があり、「日本書紀」神代の巻、スサノオノミコトの説話に、「日本は島国だから、船が無くては困るだろう」

そこでスサノオノミコトが口ひげを抜くとスギに、胸毛はヒノキに、尻の毛はコウヤマキに、眉毛はクスノキに変わり、「ヒノキは宮殿に、スギとクスノキは船に、コウヤマキは棺桶に使え」と教えたというくだりがあります。

1981年に、縄文時代の鳥浜貝塚(福井県若狭町)から全長6mの丸木船が、1947年に弥生時代後期の登呂遺跡(静岡県)から田船、田下駄が発掘されました。これらは考古学的調査によりスギであり、神話で示された通りであることが明らかにされました。

スギは雌雄同株で、花は雄花と雌花があり、2月～4月に開花します。開花期には風で多量の花粉を飛ばし、花粉症の原因となって沢山の人の悩ませています。しかしスギは日本人と共に歩み、暮らしに役立ち、日本文化を支えてきた大切な木です。(上村)



スギの雄花



スギの球果

昆虫の話

水中の忍者 ミズカマキリ

秋も深くなり、色づいた葉が風に吹かれ落ちる頃、こんちゅう館のトンボ池にミズカマキリたちがやってきます。

ミズカマキリの前脚は、まるで草を刈るための鎌のようになっていて、名前の通り水中に住むカマキリのようなのです。しかし、実は彼らの正体はカメムシのなかま。その中でもサシガメと

いう肉食のカメムシのなかまです。前脚の鎌は、カマキリ同様に獲物を捕まえるため独自に進化した器官で、まさに他人のそら似なのです。

彼らがトンボ池にやってくるのは越冬のためです。成虫で越冬する彼らは秋の終わりに、どこからともなくトンボ池に飛んできます。なぜトンボ池なのでしょう。樹木園の中にある池にはたくさんの折れた木の枝が沈んでいます。この枝は彼らが身を隠すのにとっても役立ちます。彼らの体は木の枝のように茶色く細く、彼らが枯れ枝に止まっているとそこにいることに全く気が付かないほどです。寒くなり、動きの鈍くなった彼らを狙う鳥から姿を隠すのもってこいなのです。

この隠れる能力は獲物を捕まえる事にも役立ちます。ミズカマキリは泳ぐのが苦手、スイスイとすばやく泳いで獲物の小魚やエビを捕まえることはできません。そのため、彼らの狩りは待ち伏せ方式です。木の枝に化けて獲物を待ち、気づかず前を通りすぎた獲物を前脚の鎌でがっちり捕まえるのです。このように隠れるだけでなく獲物を捕まえるためにも使われる擬態はペッカム型(攻撃型)擬態と呼ばれています。

枯れ枝に化けるその忍術と、長い呼吸管を水上に出して呼吸をするミズカマキリはまさに忍者と呼ぶにふさわしい虫なのです。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



ミズカマキリ



枯れ枝の上に止まり獲物を待つ

小さな世界こけ

春の準備

野山の木々が色づく秋、昼夜の気温差が大きくなると朝露に当たったコケは生き生きと生きてきます。

セン類のコバノチョウチンゴケは、10月中旬、胞子体はでき始めたばかりで、先はまだ鉛筆の芯のように尖っていますが、充実すると首が曲がり、緑色をした円筒形になります。

トサカホウオウゴケは、10月中旬から鶴の首のように曲がった胞子体をつけ、胞子のうの先は赤くなります。まだ薄雪が残る2月、胞子のうが充実すると、茶色になり胞子を飛ばします。

タイ類のヒメジャゴケは、秋には紅葉し雌器托を作りはじめます。春になると柄が伸び、雌器托は傘のようになります。

多くのコケは秋から胞子体をつけ始め、春に向けての準備が始まっています。(山根)



コバノチョウチンゴケの胞子体
でき始め



トサカホウオウゴケの胞子体



ヒメジャゴケの雌器托

研修会のご案内

- | | |
|---|---|
| <p>○ 11月 1日(木)『松の手入れ(秋)』
松のもみあげを实践しよう
※要予約(先着20名)、無料、剪定ばさみ・手のこ持参</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：NPO 法人「樹木医ひろしま」
工藤 徹</p> |
| <p>○ 11月 8日(木)『11月の自然探勝』
紅葉を詠んだ百人一首にふれ、園内の紅(黄)葉を楽しもう
※ 自由参加・無料、ルーペ持参</p> | <p>10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男</p> |
| <p>○ 11月 10日(土)『秋のバードウォッチング』

※ 自由参加・無料、双眼鏡持参</p> | <p>10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：日本鳥類保護連盟会員
吉見 良一</p> |
| <p>○ 11月 13日(火)『秋の写真教室』
秋を写そう
※ 要予約(先着20名)、無料、カメラ持参</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭</p> |
| <p>○ 11月 23日(金・祝)『整枝・剪定講座』
基本をしっかり身につけよう
※要予約(先着20名)、無料、剪定ばさみ・手のこ持参(見学不可)</p> | <p>10:00～12:00 緑の相談所 集合
講師：樹木医
難波 正孝</p> |
| <p>○ 12月 2日(日)『クリスマスリース作り』
自然素材でリースを作ろう
※要予約(先着30名)、材料費500円</p> | <p>10:00～12:00 学習室 集合
講師：森林インストラクター
長井 稔</p> |

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・ 手作り作品展(モーモーアート) 10月27日(土)～12月2日(日)
(パネル展示)

・ ども写真大会作品展 11月5日(月)～11月25日(日)

♪ ☆お知らせ・ご案内☆ ♪

もみじ祭り ～11月18日(日)

もみじ彩る秋を楽しみながら、紅葉クイズラリーでプレゼントゲット!

もみじ祭りお楽しみイベント 11月11日(日)10:00～15:00

場所:レストハウス前ほか

森でおさんぽフリマ、落ち葉あつめ、ノルディック・ウォーク、木工クラフト
わなげ、ミニグラウンドゴルフ、ネイチャーゲーム、花苗・焼いも販売



昨年手作り作品展(モーモーアート)より



～ 森林公園 イベント情報 ～

臨時休園中のため下記イベントを広島県緑化センターで行います。

- ・ 11月18日(日) 草笛講習会
13:00～15:00 (レストハウス裏庭)
- ・ 11月18日(日) 木の実・落ち葉で遊ぼう
10:00～14:00 (緑の相談所)
- ・ 11月23日(金・祝) 木の実・落ち葉で遊ぼう
13:00～15:00 (学習室)
- ・ 11月25日(日) プ・リズムコンサート
11:00～11:30 (レストハウス裏庭)

～ 森林公園・こんちゅう館 臨時休園のお知らせ ～

7月の西日本豪雨のため、当分の間臨時休園します。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。